

令和五年度 当初予算



鹿児島市長
下鶴 隆央

“彩り”豊かなまちの創造に 挑戦する積極予算

ポストコロナを見据え

攻めの取り組みで展開するまちづくり

日差しも暖かくなり、スマートフォンを手にしながら楽しげに歩く旅行者の姿を見かけることが多くなりました。少しずつですが、観光客数が回復傾向にあるなど、ウィズコロナの下で明るい兆しも見えてきています。

社会経済活動の正常化が進みつつある今、ポストコロナを見据えた稼ぐ力の向上やデジタルの積極的な活用など、攻めの取り組みをこれまでに以上に展開していくことが重要です。そして、コロナ前の日常にただ戻るのではなく、子育て環境のさらなる充実などにより、人口減少時代に生き残り、住みたい、訪れたいまちとして、さらに成長した鹿児島市を築き上げ、次の世代に引き継いでいかなければならないと考えています。

長引くコロナ対応や物価高騰など、我が国を取り巻く厳しい状況の中、これまでも市民のいのち、くらし、しごとを守ることを最優先に取り組んでまいりました。今年度は、過去最高の規模となる予算を編成し、新たな発想や民間の皆さんの知見などを積極的に生かし、力強く前に進む力と、時代の変化を的確に捉えて、直面する課題に迅速かつ柔軟に対応する力で、市勢の発展と市民福祉の向上のため、積極果敢に挑戦していきたいと考えています。

いよいよ開催されるかごしま国体や全国障害者スポーツ大会、インバウンド回復などを追い風に、市民や鹿児島に想いを寄せる多くの皆さんと力を結集して、より多くの魅力や価値を創出し、さらに彩り豊かな鹿児島市の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

1

発展への追い風をしっかりとつかみ、さらなる攻めの取り組みを展開

地方への関心の高まりやインバウンド需要の回復、「かごしま国体・かごしま大会」の開催などを追い風としてしっかりとつかみ、さらなる成長へとつなげられるよう、ポストコロナを見据え、3つの重点的な取り組みを中心にまちづくりを進めます。

2

一般会計当初予算2789億円の内訳

挑戦する積極予算

今年度の本市の一般会計・特別会計・企業会計を合わせた当初予算は、4892億円。このうち一般会計当初予算は2789億円で、前年度と比べて4%増の過去最高の予算規模となりました。

【財政課 ☎ 216・1155 FAX 216・1162】

つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま

多くの魅力や価値を創出し、
さらに“彩り”豊かなまちへ

「かごしま国体・かごしま大会」の開催

インバウンド
需要の回復

“成長”を後押しするための3つの重点的な取り組み

“地域の稼ぐ力”向上

- ◇高付加価値なインバウンド観光地づくり
- ◇中心市街地のにぎわい創出と回遊性向上
- ◇地域産業の生産性と農林水産業の収益性の向上

“子どもの未来輝き”推進

- ◇待機児童の早期解消に向けた取り組み
- ◇妊娠・子育て中の親に寄り添ったきめ細かな支援の展開
- ◇グローバル教育など新しい時代に対応できる子どもの育成

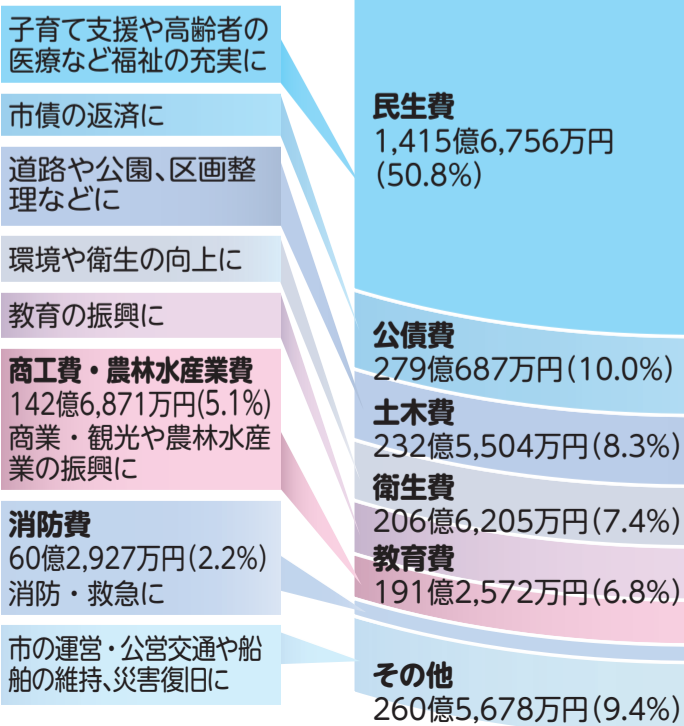
“ICTで住みよいまち”推進

- ◇「行かなくてもいい市役所」づくりのさらなる推進
- ◇交通・健康などさまざまな分野へのICT導入の加速
- ◇ICT関連産業の振興

歳出で最も多いのは、子育て支援や高齢者の医療などに使われる民生費約1,416億円で、一般会計当初予算全体の約半分を占めています。

歳入で最も多いのは市税で、昨年度に比べ固定資産税や個人市民税などの増により約19億円の増。地方交付税が、約11億円の増となりました。

歳出 (年間支出)



歳入 (年間収入)

